



すぎのこつうしん

平成28年7月 古川陳町カトリック保育園

『ルールを守る心を育みましょう』

ひつじ組やうさぎ組で世話をしていた青虫がモンシロチョウになり、先日、みんなで園庭の広い世界へ放っていました。

『元気だね。』『ハイハイ』と声を掛けている姿が印象的でした。

野菜を栽培している家では、青虫がついてしまうと大変なのですが、子ども達は大喜びでキャベツを家から持って来て取り替えてくれたりと、よい体験をしたようです。

梅雨に入り、ムシムシとした曇りですが、子ども達は汗びっしょりになりながらも元気に遊んでいます。プール遊びが待ち遠しいですね。

7月はルールを守る心を育むことを目標としました。

保育園にもいろいろなルールがあります。園庭の固定遊具の使い方や廊下は走らない事、階段を登る時のルールなどもあります。どれも子ども達の安全を考慮してのものです。

私たちが生活していく社会にも秩序、規則があります。人の物を自分の欲望のままに奪ってはいけない、列に横入りをしてはいけない、ゴミのポイ捨てはいけない等々…。そのいずれをも守らなければ、この世の中は殺伐とした光景になるに違いありません。

しかし、現在の世の中を見ていると、そうなるのではと心配する事もあります。

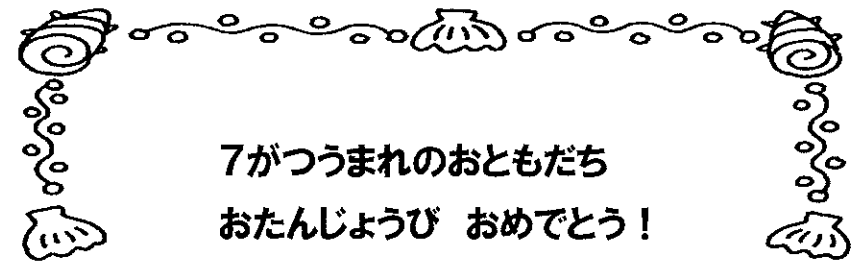
殺伐とした世の中にならぬよう小さい頃から、事ある毎に知らせ、習慣づけるようにすることが大切だと思います。習慣になれば、大人になってからも当然のこととして秩序や規則を守る人間になります。世の中の人、みんなが先ずは自分から始めましょう！

< 園長 平野 義子 >



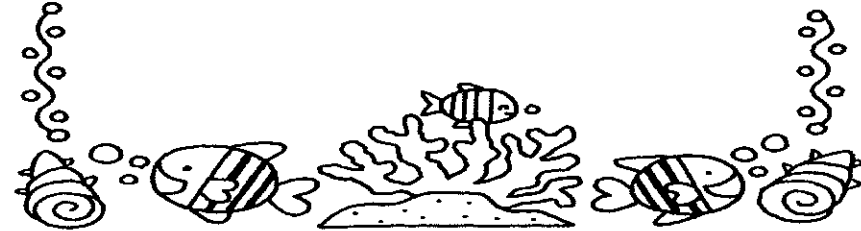
7月の予定

- | | | | |
|-------------|-----------------|--------|------------------|
| 2日(土)~3日(日) | お泊り会(4, 5歳児) | 15日(金) | 破牙神ライザー龍とリズム体操 |
| 5日(火) | 静修の日(3, 4, 5歳児) | 22日(金) | 誕生会 |
| 7日(木) | 七夕まつり会 | 26日(火) | 縦割り保育(3, 4, 5歳児) |
| 13日(水) | 保育参観(0, 1, 2歳児) | | |



7がつうまれのおともだち

おたんじょうび おめでとう！



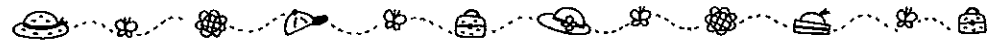
7月のうた

『マリアさまのころ』

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. まりあさまのころ | 2. まりあさまのころ |
| それはあおぞら | それはかしのき |
| わたしたちをつつむ | わたしたちをまもる |
| ひろいあおぞら | つよいかしのき |

『南の島のハメハメハ大王』

- 南の島の大王は その名も偉大なハメハメハ
ロマンチックな王様で 風のすべてが彼の歌
星のすべてが彼の夢
♪ハメハメハ ハメハメハ ハメハメハメハメハ
- 南の島の大王は 女王の名前もハメハメハ
とても優しい奥さんで 朝日の後で起きて来て
夕日の前に寝てしまう
♪くりかえし



お父さん・お母さんから

震災直後の4月からばんび組に入園し、あっという間にひつじ組になってしまいました。

保育園の先生方も、お友達も、給食も、保育園の何もかもが大好きで毎日元気に登園しています。そんな〇〇〇ですが、こねこ組の頃、1ヶ月ほど登園時に泣いてしまう時期がありました。毎朝、エビ反りになって泣く娘を抱っこしながら「大丈夫ですよ」と声をかけてくださった先生方、「笑顔で登園できますように」とお祈りしてくれたクラスのお友達のおかげで今があると思っています。

卒園まで残すところ約9か月、たくさん遊んで、食べて、寝て、時に喧嘩をして、仲直りをして、たくさんを経験を通して、「4つのころ」を身につけてほしいと願っています。

最後に、いつも私たち親子を温かく見守って下さる先生方、本当にありがとうございます。卒園までどうぞよろしくお祈りいたします！

ひつじ組 〇〇〇〇ちゃんのお母さん・〇〇〇さん

クラスだより

ばんび組(0歳児)

- <ねらい> ・生活の中で決まりがあることを知る。
 ・沐浴をしたり、水や砂に触れ、気持ち良く過ごす。
- <家庭連携> ・楽しいことやいけないことがあることを言葉や動作を使い、わかりやすくらせていきましょう。
 ・汗をかきやすい時期なので、こまめに着替えをしたり、沐浴や清拭を行って肌を清潔に保ちようにしましょう。又、水遊びや砂の感触に触れる機会を作っていくので、健康状態を毎日知らせて下さい。

ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・生活の中でルールがあることを知る。
 ・着脱に興味を持ち、ひとりですようとす。
- <家庭連携> ・ルールを1つ1つ丁寧に知らせていくことで良いこと悪いことがわかり行動できるようにしましょう。
 ・着脱やボタンのかけ外しに興味を持てるよう着脱しやすい服や大きいボタンのパジャマを用意して下さい。

ことり組(2歳児)

- <ねらい> ・生活や遊びの中にルールがあると知り、守ろうとする。
 ・夏ならではの遊びを楽しむ。
- <家庭連携> ・友だちと関わる時の決まりや生活の中にあるルールを分かりやすい言葉で知らせていきましょう。
 ・水遊びが始まりますので、水着の準備をお願いします。

こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・ルールを守り、友だちと気持ち良く過ごす。
 ・水遊びやプール遊びを通して水に親しみ、慣れる。
- <家庭連携> ・家庭や外出先でもルールがあることを知らせ、守れた時には大いに褒めてあげましょう。
 ・水遊びが始まるので、体調が優れない時には登園した際にお伝えください。

うさぎ組(4歳児)

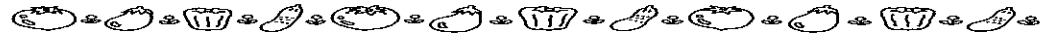
- <ねらい> ・人との関わりの中で約束の大切さに気付く守ろうとする。
 ・水、泥に触れながら遊びを楽しむ。
- <家庭連携> ・約束を守る意味や大切さを日常の中で知らせるようにしましょう。
 ・水遊びなどが始まるので水着の用意をよろしくをお願いします。

ひつじ組(5歳児)

- <ねらい> ・生活や遊びの中で約束を守る大切さに気づき、進んで守ろうとする。
 ・マナーを守って楽しく食べる。
- <家庭連携> ・家庭での生活の中で子どもと“約束”を交わし、それを守り合う大切さと嬉しさに気づけるようにしていきましょう。
 ・食事時の姿勢やマナーをしっかりと知らせていきましょう。



・食事にはマナー(ルール)があります。食べ方、箸の持ち方などなど。
 保育園では、食事の時間を決めています。その時間までに食べ終わるように、時計を喪ながら子ども達は食事をしています。ゆっくり楽しく食べることも大切ですが、就学を控えている子どもたちの練習も兼ねています。ご家庭でもルールやマナーについて考えてみてはいかがでしょうか？



『ルールを守る心を育みましょう』

先日、休みの日に小学生の娘とカードゲームの機会に並んでいました。すると、あきらかに娘より学年の大きい女の子が、悪びれる様子もなく横入りし、ゲームを始めようとした。注意すると素直に並び直したのですが、なんともすっきりとしない出来事でした。カトリック保育園の子ども達と遊んでいると、「〇〇くんが横入りした」「〇〇ちゃんが終わったら〇〇くんに貸してあげればいいんだよ」など自分たちでルールを守ろうとしたり、友達に教えてあげようとしています。社会の中にルールがあるのはもちろんですが、保育園の中にも家庭の中にもルールがあります。集団生活で身に付くルールもありますが、それだけでなく、お父さん、お母さんが生活していく中でルール、他人に迷惑をかけないようにするにはどうすればよいか教えることが大切だと思います。はじめに書いた横入りをした女の子のようにならないために、小さい頃からルールを繰り返し知らせていきたいと思っています。

< ばんび組担任 宮澤 果代子 >

水あそびのお知らせ

体調が優れない時は登園時に伝えて下さい。又、皮膚疾患のあるお友だちは早めの治療をお願いします。
 持ち物については各クラスのおたよりでお知らせします。
 十分な着替えを用意してください。



あなたの一分間拝借！

2016年7月1日



終戦後71年、所謂戦争のない平和が続きましたが、まだまだ真の平和から遠い世界情勢であちらこちらに、きな臭い匂いがあり、大事に至らねばと危惧する昨今です。すべて人災は人間の心奥に潜在する「目の欲、肉の欲、生活のおごり」から生ずると言われています。小さな島に天然資源があることに気付けば、我先に「ここは昔から私達の領土なり」と宣言し、国旗をたてたり、無断建築で意思表示をしたり、諸国の善男善女の安全保障を脅かす姿勢はいかかなものでしょうか。

平和、それは国家間だけに求められるものではありません。家族間でも職場でも教育施設でも、病院でも、福祉施設でも求められて当然なことです。特に個人にとっても平和な心が一番求められるのではないのでしょうか。

平和は「きまり」、「約束事」を心を込めて守り合うところに実現されるものです。そして大事なことは、誰でも愛である神の御心に反することを「きまり」「規則」「法律」として決めることが出来ないことに心の目を向けて自重自戒しなければならぬことと思います。このことを無視した人類は戦争の餌食となり平和から遠い存在になりました。また、どんな些細な「決まり」でも神の御心に叶うことであれば、家庭の秩序を守る為に、きちんと守る人間性づくりに力を尽くす7月の日々となりますように祈念いたします。



親を大切にすること、これは国が決めたことでも、人が決めたことでもありません。自然には自然の法則があるように、親を大切にしたい子供を育てたいすることは、人に存在を与えた方が人の心奥に生来備えて下さった「心の法」であり、時代が変わっても場所が変わっても、義務として行わなければならないことなのです。従ってそれを放棄することは人間らしさを失った人として疑われても当然のことと思われるのではないのでしょうか。

自然環境を大切にする決まり、物を大切にする決まり、友達を大切にする決まり、職場を大切にす
る心、いと小さき人々との交わりを大切にす
る心等々のきまりを心の法として受け止め、互いに守り合うところに平和な秩序があることに目覚め、7月の心のルールを守り合う日々を分かち合うよう努力しましょう。

カトリック古川教会

司祭 川井 啓

